

内科 I に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ  
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 全肺洗浄術における体位の違いによる安全性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院長 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 呼吸器内科学教室 (内科 I) 講師 鈴木 雅

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

新潟大学医歯学総合病院 特任教授 中田 光

[共同研究機関名・研究責任者名]

さいたま赤十字病院	赤坂 圭一
東北大学病院	大河内 眞也
福島県立医科大学附属病院	谷野 功典
自治医科大学附属病院	中山 雅之
獨協医科大学埼玉医療センター	福島 康次
金沢大学附属病院	阿保 未来
神戸市立医療センター中央市民病院	中川 淳
熊本大学病院	坂上 拓郎

[研究の目的]

自己免疫性肺胞蛋白症の治療法の一つである全肺洗浄術はサーファクタントが貯まった肺を片肺ずつ 20~30 リッターの生理食塩水で洗浄するという侵襲の高い手技ですが、希少疾患に行われる稀な手技であるため、どのような条件で洗浄すれば最も術中の低酸素が防げるのかという検討がされていません。術中の体位により低酸素血症の程度が異なりますが、実測値を比較検討した報告はありません。今回、過去の患者様の電子カルテや全肺洗浄術中記録より情報を収集して、洗浄したときの体位の違いによる患者様の低酸素の状態を調査し、どのような条件で洗浄したら、安全に洗浄できるかを検討します。

## [研究の方法]

### ○対象となる患者さん

自己免疫性肺胞蛋白症の患者さんで、2000年1月1日以降に自己免疫性肺胞蛋白症のため全肺洗浄術を受けた方。

### ○利用する診療情報

電子カルテに保存されている病歴と検査結果、術中記録として保存されている麻酔チャートおよびバイタルデータを解析に利用します。それぞれのデータは個人情報を除いた匿名として、新潟大学医歯学総合病院高度医療開発センター先進医療開拓部門へ送付します。

## [研究実施期間] 実施許可日～2024年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

## [連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北14条西5丁目

北海道大学病院内科 I 担当医師 鈴木 雅

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899